

資料提供	
平成28年12月27日	
担当課 (担当者)	小中学校課 (山根淳)
電話	0857-26-7935

## 平成28年度全国学力・学習状況調査における結果・分析リーフレットを作成しました

このたび、鳥取県教育委員会では、平成28年度全国学力・学習状況調査における結果・分析リーフレット「みんなでつくろう！とっとりの“学び”」を作成し、学校用リーフレットを公立小中学校の全教職員へ、児童生徒・保護者用リーフレットを公立小中学校の全家庭へ配布しました。

本リーフレットは、全国学力・学習状況調査の教科に関する調査及び児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の分析から、本県の児童生徒の課題解決に向けて、各学校・家庭での取組に役立ててもらうことを目的に作成したものです。

本リーフレットの主な内容は、以下のとおりです。

県教育委員会ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/shouchuugakkouka/>

### ○作成したリーフレットの種類

- ◇小学校児童・保護者用      ◇小学校学校用
- ◇中学校生徒・保護者用      ◇中学校学校用

### ○作成したリーフレットの内容

- ◇小学校児童・保護者用、中学校生徒・保護者用
  - ・家庭学習の取組方法や基本的な生活習慣の定着の重要性
- ◇小学校学校用、中学校学校用
  - ・国語、算数・数学の授業づくりの際に領域や単元を越えて大切にすべき点や教材研究、指導過程で参考となる点の提示
  - ・学校全体で、児童生徒の課題解決に向けて取組を進めていくことの重要性

**平成28年度 教科の学力状況**

**家庭学習に着目!**

家で学習の習慣を身につけている割合は83.6%です。その中で毎日学習している割合は62.0%です。

**家庭学習のポイント**

【家庭学習の環境にしましょう】  
朝学校等が配布している「手引」を見えるところに貼る  
手引を指針として、親が学習の目的や目標を定める  
親が学習の進捗を確認し、必要に応じてサポートする

**学校を応援**

家庭学習と連携した学びの定着を図ります。  
家庭での学習方法を先生と相談しながら考える  
家庭で教科書を読む習慣、学習意欲、目標を達成するときに教科書を活用するよう促す

<小学校児童・保護者用>

**平成28年度 教科の学力状況**

**自分の授業改善に100の視点の気づきをもって**

【100の視点】  
① 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか  
② 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか  
③ 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか

**3つのポイントを押さえた授業づくりに向けて**

【授業づくりのポイント】  
① 指導事項を明確にする  
② 適切な言語活動を設定する  
③ 評価基準を明確にし、評価を指導に生かす

<中学校学校用>

**平成28年度 教科の学力状況**

**自分の授業改善に100の視点の気づきをもって**

【100の視点】  
① 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか  
② 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか  
③ 教科の授業改善に100の視点を持って、授業の質を向上させることができるか

**3つのポイントを押さえた授業づくりに向けて**

【授業づくりのポイント】  
① 指導事項を明確にする  
② 適切な言語活動を設定する  
③ 評価基準を明確にし、評価を指導に生かす